

令和5年度 久御山町立こども園経営計画及び評価シート

久御山町立みまきこども園 園長 宮川 野添美

こども園の現状		保育・教育目標	経営方針			
<ul style="list-style-type: none"> 人懐っこく、穏やかな性格の反面、依存心が強い子どもが多い。 保護者が園運営に協力的である。 		<p>健康でたくましく心豊かな子どもに育てる</p> <p>①仲良く元気に遊ぶ子ども ②素直で思いやりのある子ども ③自分で考え行動しようとする子ども ④自分の思いを豊かに表現しようとする子ども</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域との連携を図りながら一人一人の育ちを丁寧に見つめ、健やかな心と体を育む。 乳幼児期にふさわしい生活や遊びを保障し、しっかりと愛着形成を育み、大人に見守られた安心感の中で、のびのびと自己発揮できるよう、園生活の充実を図る。 質の高い保育・教育を目指し、資質向上に励む。 			
こども園経営の重点			成果と課題			
乳児保育	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との愛着関係・信頼関係を育み、安心して自己表出できるようにする。 家庭との連携を図りながら、規則正しい生活リズムと望ましい生活習慣を育成する。 		<ul style="list-style-type: none"> 各クラスの保育の連携は取れていたが、縦のつながりが少し不足していた。見通しを持ち、発達に応じた話し合いが今後の課題である。 			
幼児教育	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自己発揮し、園生活を楽しむ中で、様々な経験を通して「生きる力」の基礎を育む。 小学校や地域との連携・交流を図り、子どもたちの健やかな成長と学びを繋いでいく。 幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を育む。 		<ul style="list-style-type: none"> 動画配信、行事などで子ども中心の園生活を保護者に伝えることができた。 保育者間のコミュニケーションをさらに密にし、見通しを持った保育を進めていくことが課題である。 			
共通	<ul style="list-style-type: none"> 各学年、指導計画に基づいて保育していく中で、縦のつながりを意識しながら0歳児から5歳児まで切れ目のない保育・教育を全職員で共通理解しながら進めていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 園庭の環境について、多く話し合ったが、保育に活かしていくことが今後の課題。そのために、さらにコミュニケーションを大切にしながら、日々の保育、準備等に取りくんでいく必要がある。 			
評価領域	重 点 目 標（観点別）			具 体 的 方 策		
健 康	基本的な生活習慣の形成を図り、健康な心と体の基礎を培う。			健康な生活を送るために、基本的な生活習慣の大切さを保護者にも啓発し、主体的に友だちと関わり、遊びを発展させることができる環境をつくる。		
人間関係	信頼感を育み自立心と協同性、道徳観や規範意識の芽生えを培う。			乳児は、身近な人と過ごす喜びや関わる心地よさを感じられるよう援助する。幼児は自分の力で行動することの充実感・望ましい習慣や態度を身につける。		
環 境	身近な環境に親しみ、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。			保育者自身が感性を豊かにし、子どもが興味や関心を持てるような環境構成を考えたり、動植物に親しみを持つと共に、いたわりの気持ちや命の大切さに気づけるようにする。		
言 葉	自分の思いを話したり聞いたりする態度を培い、言葉で伝え合う楽しさや力を育み、言葉に対する感覚を豊かにする。			体験活動を充実したり、子どもの興味や好奇心を満たす絵本や物語・言葉遊び等を準備し、言葉に対する感覚を豊かにする。		
表 現	豊かな感性や創造性を培い、豊かに表現する力を養う。			様々な体験を通して子どもたちに共感し、寄り添う中で、ごっこ遊びや表現遊び等それぞれのイメージを認め、共有し、生活や遊びの中で生かしていく。		
1 学 期		2 学 期	3 学 期			
年間評価	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症となり、子ども真ん中の保育を目指す行事や園生活の見直し、実践に向けての話し合いを大切に行った。		今年度から全学年の運動会を行い、各年齢の姿・成長を保護者の方に見て頂くことができた。また、動画配信・参観等を通して園での様子を伝えることができた。		発表会・参観等で1年間の子どもの成長を保護者を見て頂けた。今後、行事については工夫をして子どもの姿、園の様子をたくさん発信していきたい。	